

福祉の仕事支援事業【北海道】

事例紹介

地域人材育成事業 【介護分野】

当該介護雇用プログラムは、介護分野における雇用創出と介護人材の育成・確保を目的とした画期的なプログラムであり、引き続き当該プログラムの目的に沿った事業推進を図ることに注力したい。



介護老人保健施設 げんきのできる里
副施設長 光谷 宣範

事業概要

事業所において失業者等を雇用し、介護補助業務に従事させるとともに、介護福祉士養成施設における介護福祉士資格取得のための2年間の養成講座を受講させることにより、介護に必要な知識及び技能を習得させる。

委託先

社会福祉法人ノテ福祉会

新たな
雇用創出数

5人

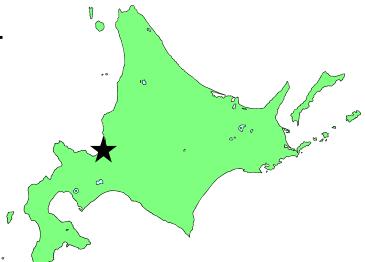
事業費

約1,802万円（平成22年度）

事業の開始

平成22年4月～

札幌市



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

北海道 0.35倍（常用）
HW札幌東管内 0.26倍（常用）

業務内容

介護補助業務への従事

介護福祉士養成施設における介護福祉士資格取得のための2年間の養成講座を受講

介護に必要な知識及び技能の習得



《 介護老人保健施設げんきのできる里 》

介護補助者 のみなさん

介護福祉士資格の取得を目指した勉強と清掃やリネン交換の介護補助業務



小林 めぐみさん

4月より介護雇用プログラムに参加させていただき2ヶ月半が経ちました。学校は宿題やテスト等が思った以上に大変ですが、折角頂いたこのチャンスを活かし、最後までやり遂げて資格取得を目指したいと思っています。



玉澤 則介さん

父子家庭で失業中のところ、何十人の中から選ばれて、とても光栄です。当初は学校と仕事の両立は難しいと思いましたが、所属施設の様々な配慮により、今ではとても楽しく勉強や仕事ができ、とても満足しています。この制度はとても素晴らしいので、これからも続けてほしいと思います。



《 訓練の様子 》

利用者 からの声

補助業務を行う中で、利用者との交流が見られており、感謝の言葉が寄せられている。



《 訓練の様子 》

今後の 課題

「就業しながら就学する」という特異的な雇用形態であることから、当初は“事業所と雇用対象者の間における意識のずれ”や“従事させたい介護補助業務の内容や時間帯とのミスマッチ”などの調整が課題。



指導担当 大谷さおり

就業時間の確保が難しく、みなさん慣れない業務に戸惑っていますが、資格取得との両立、一步一歩の成長を手助けしていきたいです。



《 授業の様子 》